

土砂災害対策懇談会(第1回)

議 事 次 第

日 時:平成19年2月20日(火)
10:00~12:00

場 所:虎ノ門パストラルホテル
新館4階 Mint

1. 開 会
2. 河川局長あいさつ
3. 委員紹介
4. 議 事
 - 1) 社会資本整備重点計画について
 - 2) 近年の土砂災害対策の課題と取組みについて
 - 3) その他
5. 砂防部長あいさつ
6. 閉 会

土砂災害対策懇談会 名簿

委員	荒牧 重雄	東京大学名誉教授
座長	大久保 駿	社団法人全国治水砂防協会理事長
委員	大橋 洋一	九州大学大学院教授
委員	奥野 信宏	中京大学総合政策学部長
委員	鈴木 雅一	東京大学大学院教授
委員	進士 五十八	東京農業大学教授
委員	寺川 裕子	特定非営利活動法人里山倶楽部理事
委員	中村 浩之	東京農工大学大学院教授
委員	中村 靖	長野県信州新町長
委員	重川 希志依	富士常葉大学大学院教授
委員	水山 高久	京都大学教授・河川分科会委員
委員	山崎 登	日本放送協会解説主幹
委員	山本 孝二	株式会社ハレックス取締役会長

(敬称略、五十音順)

土砂災害対策懇談会

開 催 趣 旨

我が国は、豊かな自然に恵まれている一方で、急峻な地形、脆弱な地質、台風や集中豪雨等に見舞われやすい厳しい自然条件におかれ、台風等による豪雨、地震、火山噴火等により、土石流、がけ崩れ等の土砂災害が全国各地で発生しています。

国土交通省では、平成 15 年から平成 19 年までの社会資本整備重点計画を策定し、計画的に土砂災害対策施設の整備を実施するとともに、土砂災害防止法による安全な土地利用への誘導や警戒避難体制の整備等のソフト対策を推進してきました。

しかしながら、平成 16 年、17 年の大規模降雨や地震による全国的な土砂災害の多発、平成 18 年 7 月豪雨による甚大な土石流災害の発生など、近年集中豪雨等の増加により土砂災害が多発し、その被害の甚大化が顕著となっています。さらに海溝型地震や火山噴火等、大規模広域災害の発生も懸念されており、公共事業による施設整備への投資が抑制される中で、これら災害の減災に向けた確実な備えが必要となっています。

また、近年災害時の住民避難の遅れや災害時要援護者の被災等が頻発しており、人口減少・高齢化の進展や地域コミュニティの弱体化等による社会的な災害脆弱性の増大が懸念され、日本の国土の 7 割を占める山地やその周辺及び都市域において、美しい景観や文化を継承していく持続可能な地域の環境や社会の形成に向けた、長期的で広範な視野に立った取り組みが必要となっています。

これらの諸情勢を踏まえ、今後の自然現象や社会情勢の変化がもたらす諸課題に適切に対応し、安全で美しい国土づくりに向けて今後の基本的政策の立案に資するため、「土砂災害対策懇談会」を開催しご提言等をいただくこととしました。